

令和4年度

公益財団法人

いづも財団 助成事業

募集要項

地域に密着した研究や活動を支援します。

この助成事業の目的は、地域に密着した研究や活動を展開し、地元の活性化につながる運動に熱心に取り組んでいるグループや個人を積極的に応援することです。

【募集期間】

令和4年6月1日（水）～7月29日（金）

1 助成の対象

公益を目的とし、次の3分野において、地域に密着した研究や活動を行っている団体や個人を助成します。ただし①営利法人②営利目的あるいは私的鑑賞を目的に文化財を所有または管理する個人は対象外とします。

- 1: 「出雲」文化の探求
- 2: 「出雲」文化の保存・継承
- 3: 地域の活性化・鎮守の森の保存

II 助成金の名称と助成事業の名称、及びその内容

| | |
|---|--|
| 1 | <p>「出雲」文化の探求</p> <p>島根県内において地域の歴史や伝統文化を研究している団体や個人を対象として助成します。また、ふるさとの神話・習俗と関わりのある自然や動植物について研究している団体や個人も助成します。</p> |
| 2 | <p>「出雲」文化の保存・継承</p> <p>○無形（民俗）文化財への助成事業</p> <p>国・県・市町村の指定を受けている各地域の伝統行事などの保存・継承・育成に取り組む島根県内の団体や個人と、それに関係する後継者の育成に係る事業を助成します。また、それらに関係の深い器物などの保存、修復・整備に対する助成も対象とします。</p> <p>○有形（民俗）文化財への助成事業</p> <p>① 島根県内に存在し、かつ所有者が県内在住の場合、国・県・市町村の指定を受けている各地域に伝わる文化財としての建造物、美術工芸品（絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書、歴史資料、考古資料など）の保存・修理修復に対し助成します。文化財を保管するための設備、保管箱等の整備についても助成の対象とします。</p> <p>② 島根県内に存在する国の登録有形文化財（建造物）については、外観に関する修理をする場合のみ、50万円を上限に助成の対象とします。</p> <p>③ 史跡・名勝については、助成の対象にはしません。</p> |

| | |
|---|---|
| 3 | <p style="text-align: center;">地域の活性化・鎮守の森保存</p> <p>○(地域の)歴史や伝統文化を活かした地域活性化助成事業 島根県内の特色ある歴史や伝統文化、または自然を活かし、地域活性化に取り組む団体や個人を助成します。</p> <p>○鎮守の森保存助成事業 島根県内に残されている社寺林のうち、歴史的、植生的に価値の高い鎮守の森の維持、保護、再生のための植栽整備並びに研究・実践に取り組む団体、個人を助成します。</p> |
|---|---|

注) ①「出雲」文化とは、狭義の出雲地域ではなく、出雲・石見・隠岐の島根県全域を含みます。

②原則として「助成期間」の延長は認めません。そのため、十分準備をし、長くても2年以内に事業が終了する目途がたった段階で申請してください。

③「2:『出雲』文化の保存・継承」部門は、国、県及び市町村の指定文化財並びに登録文化財が対象です。必ず県または市町村の文化財担当課と相談の上で申請してください。

なお、登録有形文化財(建造物)の申請者は、島根県外に在住する所有者も認めます。

④「3:地域の活性化」は、出版物等を作成することが目的ではありません。それを通して地域の活性化をどのように進めていくかが目的ですので、その内容を申請書に記述してください。

⑤行政機関(公民館、コミュニティセンターを含む)からは申請できません。

⑥同一団体・個人等が同じような内容のものを申請する場合、3回までを原則として助成します。

⑦助成事業期間中か終了後に、「いつも財団助成金交付選定委員」か「いつも財団事務局職員」が執行状況を視察することを原則とします。

Ⅲ 助成対象者の義務

(1) 助成対象者には、助成事業終了時に報告書を提出していただきます。

(2) 対象となった事業が、「いつも財団の助成を受けて実施された」ことを公表していただきます。

(3) 該当年度のすべての助成事業が終了した後に、『いつも財団助成金交付事業報告集』(B5判 2頁程度)に執筆していただきます。

(4) 募集要項に反した場合は、助成金の返還を求める場合があります。

Ⅳ 助成金額と助成期間

助成金総額 700万円(申請数・内容等により700万円に達しない場合があります。)

【内訳】

| | | | |
|---|--------------------------------|-------|------------------|
| 1 | ・「出雲」文化の探求 …… | 助成金総額 | 70 万円 (2～3 件程度) |
| 2 | ・無形 (民俗) 文化財 …… | 助成金総額 | 150 万円 (5 件程度) |
| | ・有形 (民俗) 文化財 …… | 助成金総額 | 300 万円 (1～2 件程度) |
| 3 | ・地域の歴史や伝統文化を活かした 地域活性化助成 …… | 助成金総額 | 80 万円 (2～3 件程度) |
| | ・鎮守の森保存 …… | 助成金総額 | 100 万円 (2～3 件程度) |

助成期間

令和4年10月1日～令和5年9月30日まで (最長2年間)。

V 応募方法

助成金の申請をする者は、助成事業の目的および内容、助成事業に要する経費、その他必要な事項を記載した助成金交付申請書 (様式第1号) を、**令和4年7月29日 (金) 【厳守】**までに理事長あてに提出してください。

なお、二次募集は原則として行いません。

VI 選考方法

- (1) 各分野の専門家からなる交付選定委員会に諮りその答申を経て、9月開催予定の理事会にて決定をします。
- (2) 選定の過程で、必要に応じて追加資料の提出を依頼する場合や、現地調査もしくはヒアリングを行うことがあります。

VII 決定の通知

選考結果については上記理事会終了後、書面にて申請者に通知します。なお、書類等の受け取りを事務取扱者が行う場合には、申請の際に「いづも財団」まで連絡ください。(申請者や事務取扱者が交代された場合は、その都度、いづも財団まで連絡ください。)

VIII 申込み・お問い合わせ

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東 283 大社國学館内

公益財団法人いづも財団 Tel : 0853-31-4346

Fax : 0853-31-4348 E-mail : info@izumozaidan.or.jp

○申請用紙は、「いづも財団」ホームページからダウンロードできます。

○申請は、郵送またはメールでお願いします。メールの場合、様式1はPDF形式で添付してください。

様式第1号

助 成 金 交 付 申 請 書

令和 年 月 日

いづも財団 理事長 様

住 所 〒

電話番号

申請者 氏名又は団体名及び代表者氏名 (ふりがな)

印

| | | | |
|-------------|--------|---------|---|
| 事務取扱 者氏名 | (ふりがな) | 連絡先 | 〒 |
| | | 電話番号 | |
| | | メールアドレス | |

次のとおり申請します。

| | | | |
|--------------------------|----------|--------|----|
| 助成年度 | 令和 年度 | 助成金の種類 | |
| 助成事業の名称 | | | |
| 助成事業の目的及び内容 | | | |
| いづも財団に助成金を申請した理由 | | | |
| 助成事業の経費総額 (うち自己資金額 円) | | (自己資金額 | 円) |
| 希望助成金額 | | 円 | |
| 施行場所 (必要の場合) | | | |
| 助成事業の着手・完了年月日 (予定) | | | |

添付書類 1 事業計画書 2 収支予算書 3 その他

【参考例】 助 成 金 交 付 申 請 書

令和3年7月6日

いづも財団 理事長 様

住所 〒 699-0701 出雲市大社町杵築東△△番地

電話 0853-53-××××

申請者 大社歴史民俗研究会 会長 ^{いづも}出雲 ^{たろう}太郎 印

| | | | |
|-------------|-------|---------|-------------------------|
| 事務取扱 者氏名 | 大和 二郎 | 連絡先 | 〒699-0721 出雲市大社町修理免△△番地 |
| | | 電話番号 | 0853-53-×××× |
| | | メールアドレス | 123gogo@####.##.jp |

次のとおり申請します。

| | | | |
|--------------------------|--|--------|-----------|
| 助成年度 | 令和3 年度 | 助成金の種類 | 「出雲」文化の探求 |
| 助成事業の名称 | 『出雲大社参詣道の変遷と杵築町』の出版事業 | | |
| 助成事業の目的及び内容 | これまで3年間をかけて出雲大社参詣道の変遷や杵築町の推移を書籍や実地踏査により明らかにしてきたが、研究成果を多くの市民に知らせるために著書にまとめ出版する。 | | |
| いづも財団に助成金を申請した理由 | 本会は、会員からの会費と寄付金とで運営しているが、著書出版ともなると、経費が嵩む。会費と寄付金、売上金だけでは予算的に出版が難しいので、貴財団からの助成を切に願います。 | | |
| 助成事業の経費総額 (うち自己資金額 円) | 700,000円 (自己資金額 500,000円) | | |
| 希望助成金額 | 200,000円 | | |
| 施行場所(必要の場合) | | | |
| 助成事業の着手・完了年月日(およその予定) | 令和3年10月1日 ～令和5年9月30日(最長) | | |

添付書類 1 事業計画書 2 収支予算書 3 その他

【事業計画書の参考例】

『出雲大社参詣道の変遷と杵築町』の出版事業計画

大社歴史民俗研究会

1 事業の目的

大社歴史民俗研究会（事務局：出雲市大社町、会員30名）は、平成10年の研究会発足以来、今日まで23年の長きにわたって大社町内外の歴史、民俗などについて研究を重ねてきた。今回はこれらの研究成果を踏まえ、出雲大社参詣道の変遷と門前町の推移を著書にまとめて出版し、会員はもとより広く江湖に問うことを目的とする。

2 著書

- ① 著書名 『出雲大社参詣道の変遷と杵築町』
- ② 体裁：A5判 ソフトカバー 約120頁
- ③ 発行部数 500部（図書館等へ献本200部、販売300部）
- ④ 執筆者 大社歴史民俗研究会会員及び外部執筆者
- ⑤ 編集 大社歴史民俗研究会編集部
- ⑥ 目次案 後述

3 事業日程

- ① 令和3年10月 第1回編集会議開催（事業計画の詳細決定）
- ② 令和3年12月 第2回編集会議開催（執筆者の決定）
以後、2ヶ月に1回のペースで編集会議を開催し、進捗状況の確認
- ③ 平成5年4月 原稿を印刷所に送付。その後、校正作業4回。
- ④ 平成5年7月 出版、図書館等への送付作業

4 目次案 『出雲大社参詣道の変遷と杵築町』（著書名）

| | | |
|---------------------|-------|-----|
| 序章 プロローグ | …………… | 5頁 |
| 第1章 絵図・地図から見た参詣道の変遷 | …………… | 25頁 |
| 1 鎌倉期の参詣道 | | |
| 2 戦国期の参詣道 | | |
| 3 江戸後期の参詣道 | | |
| 4 明治期の参詣道 | | |
| 5 大正期の参詣道 | | |

第2章 門前町杵築の発展と参詣道 …………… 40頁

1 中世の大社参詣と御供宿

- ①出雲地域の宗教センター杵築
- ②山陰地域屈指の商業都市
- ③御供宿と経営者たち
- ④遠隔地からの参詣者
- ⑤杵築法度による規制

2 出雲信仰の全国展開と参詣者の増加

- ①神在月と縁結び信仰
- ②日本勸化と出雲御師の活躍
- ③「講」による団体参詣者
- ④杵築町域の拡大と修理免歓楽街
- ⑤杵築富くじ興行とその経済効果
- ⑥出雲大社を訪れた人々

第3章 大社観光の発展と参詣道 …………… 40頁

1 大社駅舎の建設と新たな参詣道

- ①汽船の発達と新たな参詣道
- ②ヘルンの来た道
- ③大社駅舎の建設と神門通り・駅通りの建設
- ④一畑電鉄の開通と神門通りの形成

2 進む観光開発

- ①出雲阿国を活かした観光開発
- ②海水浴場と稲佐浜の整備
- ③近代劇場の建設
- ④旅館・土産物店のサービス
- ⑤交通機関の発達と増えてきた観光客

(下 略)

【収支予算書の参考例】

『出雲大社参詣道の変遷と杵築町』の出版事業

(収入の部)

| 費 目 | 金 額 | 備 考 |
|--------|----------|----------------------|
| 会 費 | 150,000円 | 5,000円×30名=150,000円 |
| 寄 付 金 | 50,000円 | 10名 |
| 書籍売上代金 | 300,000円 | 1,000円×300冊=300,000円 |
| 助 成 金 | 200,000円 | いつも財団から |
| 計 | 700,000円 | |

(支出の部)

| 費 目 | 金 額 | 備 考 |
|------------|----------|-----------------|
| 編集会議資料印刷費等 | 50,000円 | 会場費、コピー代等 |
| 地図購入費 | 10,000円 | |
| 原稿執筆料(謝金) | 50,000円 | 外部執筆者10,000円×5名 |
| 書籍印刷費 | 560,000円 | いつも財団から200,000円 |
| 郵送費等 | 30,000円 | |
| 計 | 700,000円 | |

注) 収入合計額と支出合計額が一致していること！

注) 助成金から「謝金」「飲食費」や個人所有になるもの(「書籍」など)への支出は認めない。

注) 「備考」欄に、いつも財団からの助成金をどの費目に充当したか明記する。

様式第4号

助 成 事 業 実 績 報 告 書

令和 年 月 日

いづも財団 理事長 様

住 所

助成事業者 電 話 番 号

氏名又は団体名

及び代表者氏名

㊟

いづも財団助成金規程第11条の規定により、次のとおり報告します。

| | | | |
|-----------------------|-------|-------------|-------|
| 決定通知年月日 | 年 月 日 | 決定通知番号 | 第 号 |
| 助 成 年 度 | 年度 | 助 成 金 の 種 類 | |
| 助 成 事 業 の 名 称 | | | |
| 助 成 事 業 の 施 行 場 所 | | | |
| 着 手 年 月 日 | 年 月 日 | 完 了 年 月 日 | 年 月 日 |
| 助 成 事 業 の 経 費 精 算 額 | 円 | | |
| 助 成 金 の 交 付 決 定 通 知 額 | 円 | | |
| 助 成 金 の 既 交 付 額 | 円 | | |
| 助 成 事 業 の 経 過 及 び 内 容 | | | |

添付書類

- 1 収支決算書
- 2 完成写真(工事施行の場合)
- 3 その他

様式第6号

助 成 金 交 付 請 求 書

令和 年 月 日

いづも財団 理事長 様

住 所
助成事業者 電 話 番 号
氏名又は団体名
及び代表者氏名

㊟

いづも財団助成金規程第13条第2項の規定により、次のとおり請求します。

| | | | |
|---------------|--|-------------|-----|
| 決定通知年月日 | 年 月 日 | 決定通知番号 | 第 号 |
| 助 成 年 度 | 年度 | 助 成 金 の 種 類 | |
| 助 成 事 業 の 名 称 | | | |
| 交付決定通知額 | | | 円 |
| 交付確定額 | | | 円 |
| 助成金の既交付額 | 年 月 日交付 | 円 | |
| | 年 月 日交付 | 円 | |
| | 計 | 円 | |
| 今回交付請求額 | | | 円 |
| 未 交 付 額 | | | 円 |
| 添 付 書 類 | 1 助成金交付決定通知書又は助成金等確定通知書の写し 2 請求額内訳書 3 領収書 4 振込先（名義、金融機関、口座番号） | | |

